



2020 | Environmental, Social and Governance Report

科学は、サステナブルな世界を実現できるでしょうか？

そのためにはコラボレーションとイノベーションが必要です。ダウは、科学とサステナビリティ、文化と説明責任が重なり合う領域において、パートナーシップを通じ新たな発想を生み出すとともに、お客様、従業員、コミュニティ、ビジネスの成功に最も重要な環境・社会・ガバナンス（ESG）の課題に対する新たな答えを探っています。

私たちのパーパス（存在意義）

素材科学の専門知識とパートナーとのコラボレーションを通じてサステナブルな未来を築くこと

私たちの目指す姿

世界で最もイノベティブ、顧客本位、インクルーシブでサステナブルな素材科学会社

概要：2020年の進展

環境スチュワードシップを促進し、インクルージョンとダイバーシティの文化を育み、コミュニティの福祉に貢献し、社会的責任と確固たる信念を持った事業活動を通じた成果を上げるために、ダウはさまざまな関係者と協働しています。



人種的公平： Dow ACTsという包括的な枠組みとコミットメントを発表しました。今後5年間で1千万ドル以上を投じ、構造的な人種差別と社会的不平等に取り組みます。



低炭素への移行： 2050年までのカーボンニュートラルの達成に向け、大規模な炭素削減最適化プロジェクトを実行し、2025年サステナビリティ目標の目標値を上回る、再生可能エネルギー利用の50%拡大を実現し、電熱分解炉技術をはじめとする画期的な低炭素技術に投資し、排出量の追跡と削減の自動化および精度を向上させるための対策を講じています。



新しいプラスチック廃棄物目標に沿った循環性指標の開示： パッケージ用途向け製品の81%が再利用またはリサイクル可能であることを公表し、再生可能なバイオベース原料で作られた製品の販売を3倍に拡大しました。

>50%

2025年サステナビリティ目標の進捗： 自然環境の向上につながるプロジェクトによって10億ドルの事業価値を生み出すという目標を半分以上達成しており、ECOSURF™ EH Specialty Surfactantsをサステナブルな選択肢とするなど、2025年に向けたより安全な材料目標に向けた進展も見せています。



インクルージョン、ダイバーシティ、イクイティ（公平性）の文化を育むための対策： 2020年はエンployee・リソース・グループを16%拡大し、ALL IN ERG Fundを通じてインクルージョンの支持を表明しました。また、インクルージョン、ダイバーシティ、イクイティに注力する多数の非営利団体を支援するため、380万ドルを超える寄付を行いました。



全従業員で取り組むESG： 役員報酬および従業員業績連動型報酬制度にESG指標を取り入れました。



新型コロナウイルス対応支援： 新型コロナウイルスへの対応により、従業員およびコミュニティの健康と安全を支え、医療従事者のための革新的な製品を生み出しました。また、世界各地の新型コロナウイルス関連支援活動に400万ドル超の支援金を提供するとともに、個人用防護具、消毒液、安全および教育支援を提供するために、160万ドル相当の製品を寄付しました。

2020年のレポートにおける情報開示の強化

Environment 環境

- 気候変動リスクに関する情報開示を強化し、同業他社と比較しやすいように温室効果ガス強度指標を修正
- 新しい目標に沿った循環性指標の開示
- 新しい炭素目標に向けた進捗を公表
- 気候変動およびその他のESGリスクをダウの企業リスク管理プロセスと統合

Social 社会

- ダウのトップリーダー300名を対象とした業績連動型報酬にインクルージョンおよびダイバーシティ指標（世界的なエンployee・リソース・グループへの参加、世界的な女性の構成比率、米国の少数民族の構成比率）を追加

Governance ガバナンス

- 報酬をESGパフォーマンスに連動
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言およびサステナビリティ会計基準審議会（SASB）の基準の導入を継続

これまでのESGに対する取り組みを継続

ダウは、120年以上にわたり、科学を通じてより良い世界を実現することとトップクラスのパフォーマンスを発揮することに情熱を注いできました。現在、ダウの製品と技術は、社会を支えるとともに、資源が不足し、ますます複雑化する世界の課題に対応しています。ダウは、現在の需要を満たしつつサステナブルな未来を実現するという目的を達成するために、環境のサステナビリティ、社会的責任、健全なガバナンスにより一層注力し、取り組みを加速させてきました。

2020年ESGレポートは、環境保護、インクルージョンおよびダイバーシティ、コミュニティ、ガバナンスの4つの戦略的分野を中心に構成されています。これらの分野には、ダウが世界的な課題に対する解決策を提供し、お客様、コミュニティ、従業員、ビジネスに向けて永続的な価値をもたらすために、チームとしてどのように取り組んでいるかという姿勢が反映されています。

[こちら](#)から、ESGレポートの全文（英文）をお読みいただけます。

環境保護

ダウが最も大きな変化をもたらし、業界全体の変革を促すことのできる分野に注力しています。

サステナビリティ戦略の進化と危機的な課題への挑戦



コミュニティ

ダウの「地球市民としての戦略」は、私たちのコアの強みである科学技術の専門性、グローバルスケールそしてリソースを、私たちが働き、生活する地域社会を向上させるためにどう活用するかというロードマップです。

地球市民としての活動の優先分野

	サステナブルソリューションの促進	ダウの製品、技術、専門知識を社会のために活用
	インクルージョン・コミュニティの構築	構造的な課題や障害に取り組むための提議
	未来のイノベーター創出	未来の仕事のために将来のSTEMパイプラインを整備
	インパクトを生む従業員のエンゲージメント	ボランティアを通じて、前向きな従業員体験とプラスのインパクトを創出
	地域社会とのコラボレーション	支援を必要とするコミュニティのために行動する

インクルージョンおよびダイバーシティ

インクルージョンおよびダイバーシティは、ダウの企業戦略に組み込まれており、顧客本位、イノベーション、サステナビリティを加速させるための強力な原動力となっています。

ALL IN

以下の主要分野で、2025年までに目に見える具体的で有意義な成果を実現します。



ガバナンス

トップクラスのガバナンスによって説明責任を強化し、ダウのあらゆるステークホルダーの長期的な利益を守ります。

ガバナンスの優先分野



環境：地球を守る

注力分野：気候を守る

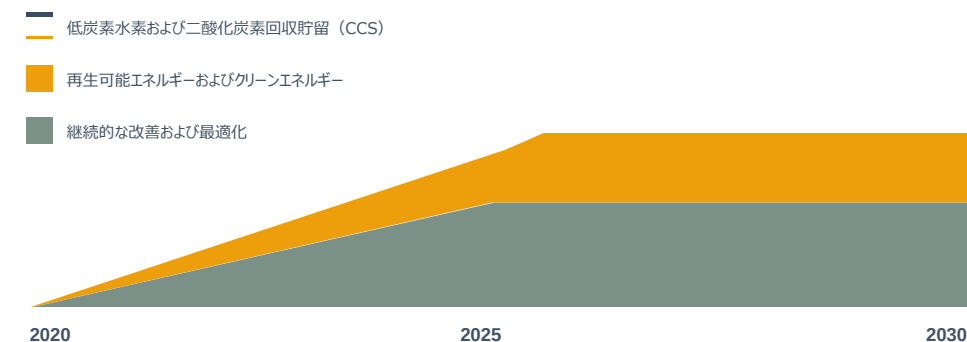
ダウでは、2050年までにカーボンニュートラルを達成するという意欲的な目標を掲げています。エネルギーの大規模な生産者かつ消費者として、ダウはこの複雑な課題に対処していくことを固く決意しています。

アプローチ

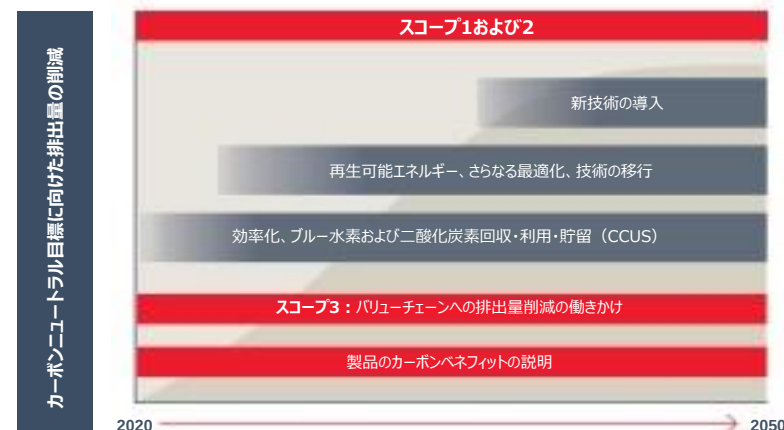
ダウは事業において、お客様、サプライヤー、バリューチェーンと協力しながら、炭素排出量の削減に取り組んでいます。それと同時に、低炭素製品を提供することにより、お客様による炭素排出量削減も促しています。2030年の炭素削減目標の達成に向けて、ダウは実行可能なロードマップを策定しています。ダウは、2050年までのカーボンニュートラルの達成を目指して、規制の強化とお客様のニーズの拡大に応えるための過渡的な技術を導入し、脱炭素製造のための次世代の技術を採用することにより、今後もさらに進歩を積み重ねていきます。

2030年までの見通し

目標：2030年までに年間CO₂排出量を500万トン削減



2030年までとその後の見通し



2020年、排出量削減に向けた具体策として、ダウは気候を守るための目標を発表しました：



PROTECT THE CLIMATE 気候を守る

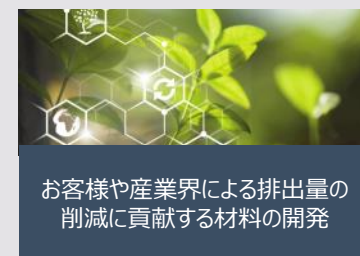
2030年までに、ダウは年間炭素排出量を正味500万トン、2020年と比較し15%削減します。また、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを目指しています。（スコープ1、2、3 + 製品を通じた効果）。[進捗状況はこちら（英文ESGレポート 65ページ）](#)

このカーボン目標は、2025年サステナビリティゴールで掲げる下記の気候変動関連の目標に追加するものです。

- ・ ダウは2025年までに、750MWの電力を再生可能エネルギーからまかなう。
- ・ 今後10年において世界中で事業拡大する中で、ダウのGHG排出量の絶対値は2006年を超さない。

* この目標は、2020年を基準として発表されました。しかし、事業および生産量に新型コロナウイルスの影響があったことから、2020年は生産状況が一般的だったとは言えません。そのため、基準を見直し、2019年を基準年として選定しました。基準値は、外れ値（定期修理／停止や工場の生産量の異常な多さなど）を修正した2019年のスコープ1 + 2の排出量です。基準値は、CO₂換算3470万トンに相当します。

気候を守るためのアクションプラン



2020年の進捗

- 省エネおよびGHG排出量最適化プロジェクトを実施、約2.27 GJ/年のエネルギー節約と40万トンの炭素削減を実現
- 再生可能エネルギーの利用を50%増の800MW超に拡大し、750MWを目標にしていた2025年サステナビリティゴールの目標値を突破
- 暫定的なソリューションの実現を目指すGulf Coast Carbon Collaborativeの創設メンバー
- オランダにおけるカーボン・コネクト・デルタのメンバー
- シェルとの間で電動エチレンスチームクラッカー技術を加速させるための共同開発契約（JDA）を締結
- ダウの製品によって顧客の排出量は年間約4億トン削減されると推定
- スコープ1と2の進捗をトラッキングするための自動化と正確度を向上
- 再生可能エネルギーの購入で化学品業界1位
- 再生可能エネルギーの購入で世界上位15位以内
- 特許技術であるUNIFINITY™脱水素プロセス技術を導入、ミックスフィードクラッカーにプロパンを導入し米ルイジアナ州ブラクミンにおいてオン・パースプロピレンを生産、省エネかつGHG排出量を最大20%削減
- ダウの素材科学技術が、より軽量で燃費の良い自動車、省エネ建築・再生可能エネルギーその他技術を可能に

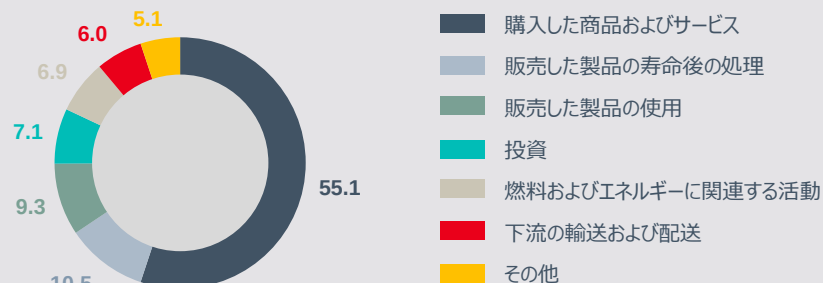
これまでの15年間、ダウは事業を拡大させながらも全体の排出量を15%削減

スコープ3排出量

ダウのカーボンニュートラル目標を構成する要素に、スコープ3排出量の削減があります。ダウは、数年前からスコープ3排出量に関する報告を行っており、未来の活動に向けた信頼できる土台づくりの手段を強化し、デジタル化に取り組んでいます。スコープ3排出量に対し、ダウは以下のような対策を講じています。

- 会社および製品ごとに炭素情報を把握、報告できるよう、データの質と追跡可能性を継続的に強調しながら、サステナビリティを重視したサプライヤーとの関係を強化
- 炭素会計および対策、その他のESGに関するKPIを含め、購買および統合されたサプライチェーンについて、サステナビリティに関する包括的なロードマップを発表
- サプライチェーンにおける気候の影響を追跡し、サプライヤーとの協調的な脱炭素化の機会を特定するため、2021年にCDPサプライチェーンプログラムに参加
- 物流業者と協力し、データの質と透明性を向上

スコープ3温室効果ガス排出量：全体に占める割合



注力分野：循環型経済

地球の天然資源の保全・保護とダウの事業の長期的な成功には、循環型経済への移行が欠かせません。

アプローチ

ダウは、素材とその製造に使用されている資源の寿命を延ばすソリューションを発見し、拡大するため、新しい製品技術、バリューチェーンのパートナーシップ、ビジネスモデル、廃棄物管理インフラに投資しています。

2020年の活動



使用済み製品の回収システム

ダウは、素材を活用し続けるためのビジネスモデルの拡大を後押ししています。ダウのRENUVA™マットレス循環型経済プログラムは、使用済みマットレスに使用されているポリウレタン（PU）フォームのリサイクルを目指しています。ダウは、バリューチェーンと協力して、使用済みマットレスからPUフォームを回収し、それをRENUVA™ポリオールに再生して新しいマットレスやその他の用途に使用する、化学的なリサイクルエコシステムの構築に取り組んでいます。



マルチステークホルダー・パートナーシップ

世界的な水供給に対する負荷が増す中、ダウには模範を示して先頭に立ち、地域の水資源を保護し、責任ある水の利用を促進する義務があります。ダウは2020年、持続可能な開発のための世界経済人会議と飲料業界環境ラウンドテーブルが水循環性評価指標ツールを開発し、各企業に事業における循環的な水利用の導入を促すことを目的として開始した協調的な活動に参加しました。ダウは、タヌーゼン（オランダ）およびタラゴナ（スペイン）の拠点において都市排水を再利用するための長期的な協調的取り組みを強化し、その活動に大きく貢献しました。



再利用およびリサイクルのための素材の設計

ダウは、環境上の明らかなメリットがある場合、お客様が再利用またはリサイクル可能なパッケージ素材を再設計し促進することを後押ししています。ダウは2020年、REVOLoop™というブランド名で、機械的にリサイクルされたプラスチック樹脂のグローバルラインを商品化しました。この使用済みリサイクル製品のシリーズからは、リサイクルプラスチックを製品に取り入れるというお客様の目標をサポートするために、ダウがいかにその素材科学を活用しているかが見て取れます。

目標

- 2020年、ダウはプラスチック廃棄物に対処するための目標を発表しました。

STOP THE WASTE 廃棄物の根絶



2030年までに、ダウは直接のアクションまたはパートナーシップを通して100万トンのプラスチックの回収、再利用、リサイクルを実現します。



CLOSE THE LOOP 循環を作る

2035年までに、包装用途における全製品を、再利用可能またはリサイクル可能にすることで、「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」に貢献します。

さらに、ダウの2025年循環型経済目標では、2025年までに6つの大規模なサーキュラーエコノミープロジェクトを実施することを掲げています。

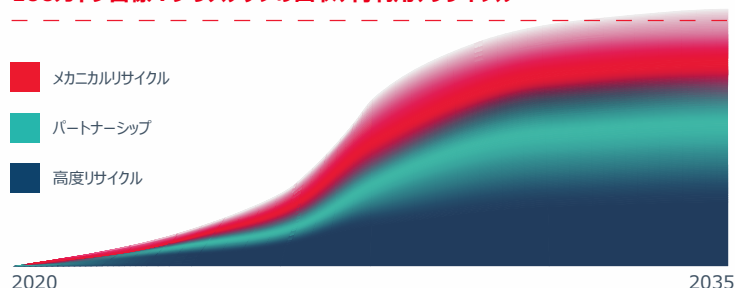
プラスチックの循環型社会をつくる

世界最大手のプラスチックメーカーとして、ダウはプラスチック廃棄物を根絶したいと考えています。

無駄をなくす

「stop the waste」（無駄をなくす）というダウの目標は、世界中でリサイクルを大幅に拡大するための主要な技術およびインフラストラクチャーに対して投資や協働を行うというコミットメントです。

100万トン目標：プラスチックの回収、再利用、リサイクル



2020年の進展

ダウは、2030年までに100万トンのプラスチックを回収、再利用、リサイクルできるようにするというコミットメントに向けて、8298トンを達成しました。ダウは、この目標を推し進めるための多数のパートナーシップおよびイノベーションの初期段階にあります。



メカニカルリサイクル

中国で初めてリサイクルしたプラスチック製牛乳パックで道路を建設するため、乳製品ブランドのShiny Meadowと提携



パートナーシップ

Circulate CapitalおよびAlliance to End Plastic Waste (AEPW) といった重要なパートナーシップを活用し、廃棄物により最も影響を受ける地域におけるリサイクル率を向上させる、主要な用途開発の取り組み



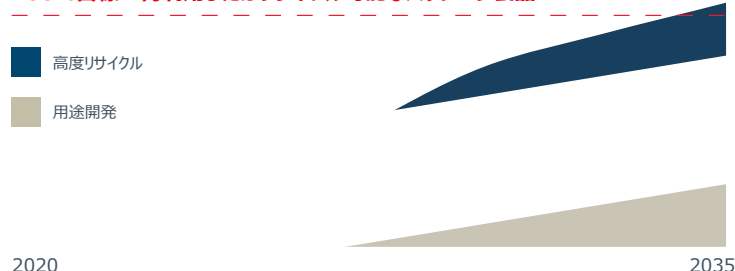
高度リサイクル

ダウの新たなポリマーを作るため、リサイクルしたプラスチック廃棄物を使用した新たな原料の供給に関するFuenix Ecologyとのパートナーシップを推進

循環を作る

「close the loop」（循環を作る）というダウの目標は、顧客、ブランドオーナー、バリューチェーンと直接協力し、ダウがパッケージ用途向けに販売しているすべての製品を再利用またはリサイクル可能なものにするというコミットメントです。

100%目標：再利用またはリサイクル可能なパッケージ製品



2020年の進展

ダウは、パッケージ用途向けに販売している製品の81%を再利用またはリサイクル可能なものにしています。例えば、ダウは以下のようにお客様の再利用またはリサイクル可能な用途の再設計と促進を後押ししています。

- ・ **使用済みリサイクルプラスチック用途**：インドで使用済みリサイクルプラスチックを使用したポリエチレンフィルムソリューションを開発し、上市するため、サーキュレート・キャピタルのオーシャン基金がインドで支援する初の企業、Lucro Plastecycleと覚書を締結
- ・ **完全にリサイクル可能なパッケージ**：Libyが中国初の完全にリサイクル可能な洗濯洗剤ボイド用パッケージを生産できるよう、ダウ、洗濯洗剤ブランドのLiby、パッケージメーカーのFujan Kaidaが提携

100%のコミットメントを完全に実現するには、さらなる用途開発とパッケージの再設計、インフラの改善が必要です。



大切にしていること：安全な素材

世界で製造されている商品の96%以上が化学によって実現されており、事業価値そして社会・環境的価値をもたらす化学の可能性は無限です。市場に出すすべての素材が人間と地球にとってサステナブルであること。それが未来に向けたダウのビジョンです。

アプローチ

ダウは、素材が人間と地球にもたらす影響について、測定、設計、製造、報告、行動のあり方を継続的に評価し、改善することにより、イノベーションを起こし、より安全な素材を市場にもたらすべく取り組んでいます。

- **製品リスク管理**：改善の機会を探るため、製品ライフサイクルのすべての段階において、環境・安全衛生（EH&S）管理アプローチの一環として、すべての製品を適切に評価しています。
- **リスク判定ツール**：リスク判定プロセスツールを使用し、すべての製品の人間と環境に対するリスクを特徴づけます。その後、リスクに応じて、プロダクト・スチュワードシッププログラムに必要な行動とレビューを決定します。
- **利害関係者のエンゲージメント**：「2025年サステナブルな地球のための安全な素材に関する目標」の一環として、サステナブルな素材と慣行の開発および導入を推進するため、ステークホルダーの声に積極的に耳を傾け、エンゲージメントを図っています。

2020年の進展

「2025年サステナブルな地球のための安全な素材に関する目標」の一環として、優れた環境特性、強化されたライフサイクル評価、製品パフォーマンス、市場での評価に基づき、ダウの2つ目のサステナブルな選択肢としてECOSURF™ EH Surfactant製品群を選びました。この製品により、よりサステナブルな洗剤、塗料、農業製品の製造が可能になります。

インクルージョンおよびダイバーシティ（I&D）

ビジネスが成功するのは、従業員一人ひとりが成功するときです。ダウが会社としての目的と目標を達成するには、従業員が最大の価値を生み出し、促進し、提供できるようなインクルーシブな文化が必要です。また、世界的な課題への取り組みとイノベーションについて、お客様に新鮮で多様な視点をもたらすことのできる、多様な人材が求められます。

アプローチ：インクルージョンでリードする

ダウは、ダイバーシティに注力し、方針や慣行に公平性を取り入れながら、インクルージョンでリードしています。2017年、ダウは社内でインクルージョンを育むための計画的なプロセスに乗り出しました。インクルージョン2020戦略の発表は、会社全体に草の根運動が広がるきっかけとなり、ダウのあらゆる主要業績評価指標（KPI）に変化をもたらし、ダウをインクルージョンのリーダーに導きました。

進展：I&Dに関するKPI

2017		2020
15.1%	世界の拠点におけるERG*への参加	48.9%
68%	全体的な従業員満足度	74%
27.4%	世界における女性の構成比率	28.1%
21.9%	米国の少数民族の構成比率	25.1%
0.3%	米国のサプライヤーダイバーシティ支出	1.02%

インクルージョンおよびダイバーシティに関する表彰

2020年度の表彰

15年間 	3年間 	OUT & EQUAL WORKPLACE ADVOCATES ワークプレイス・エクセレンス・アウディー優秀賞 グローバル・ワークプレイス・エクセレンス・アウディー受賞	8位  FINANCIAL TIMES ダイバーシティのリーダー	8カ国での認定  EDGE 認証 	involve heroes outstanding empower involve the inclusion people	2年間  22位 	DiversityInc 特別表彰: ERG、 サプライヤーダイバーシティ、 障がい者、 LGBTの従業員、 慈善活動、 エグゼクティブダイバーシティカウンシル、 ESG
--	--	---	---	---	--	---	---

あらゆるレベルでの説明責任

ダウのインクルージョン、ダイバーシティ、イキティ（ID&E）戦略を指揮するのは、会長兼CEOジム・フィッティングに直属する最高人事責任者兼最高インクルージョン責任者のカレン・S. カーターです。以下の3つのインクルージョン・カウンシルが、会社のトップから、そして会社全体で、ID&E戦略を推し進めています。

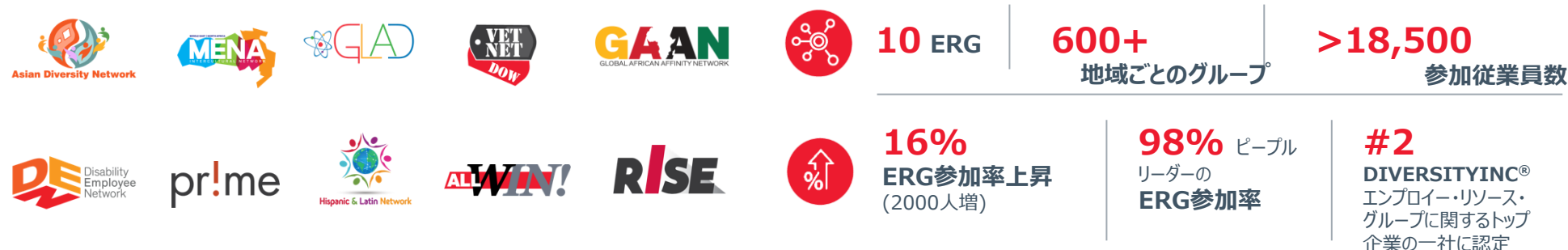
- プレジデント・インクルージョン・カウンシルが、戦略をトップから定義、支持しています。
- シニアリーダー・インクルージョン・カウンシルが、各事業、地域、機能組織における中間シニアリーダーを通じて、変革に影響を与えています。
- ジョイント・インクルージョン・カウンシルは、エンployee・リソース・グループ（ERG）のリーダーを通じて、協働して従業員のエンゲージメントを最大限に促進しています。

ESGに関する説明責任を促す業績連動型報酬

ダウの2020年業績連動型報酬の見直しを行い、目標達成に向けてチームダウ全体が責任を持つ新たなESG指数を取り入れました。これには、顧客体験（カスタマーエクスペリエンス）、サステナビリティ、I&Dに関する目標があります。

ダウのエンployee・リソース・グループ（ERGs）

2020年度の困難にもかかわらず、ダウの10のERGは立ち止まりませんでした。一歩踏み出し、I&Dを前進させ、従業員同士がつながり続けられるよう支援しました。



多様な人材パイプラインを呼び込み、育成する

インクルーシブな雇用慣行：ダウは2020年、求人、多様な候補者、多様なインタビューチームに関する規定を定めた新しいインクルーシブな雇用慣行を世界的に導入しました。

多様な人材のための開発プログラム

- スポンサー制度
- アドボカシーの実践
- カタリストのMen Advocating Real Change
- EYのPOWER Up

多様な成果をもたらすためのインクルーシブな世界的雇用基準

- 公平な慣行
- ✓オープンポジションを公表
- ✓オープンポジションに対して多様な候補者を選出
- ✓多様な採用面接陣を確保

公平な人材開発プログラム：
優先課題は、リーダーシップ職を多様化し、チームメンバーが意欲とやりがいを感じられるように促すことができる能力を身につけることです。

ダウのACTsプログラムを通じ、人種差別に取り組みます

ジョージ・フロイド氏の死亡事件に際し、ダウは黒人従業員への配慮として人種差別へのコミットメントを明確にするために前進しました。構造的な人種差別や不公平さに対処するため、今後5年間で合計1千万ドル以上を投じることを約束しています。

 ADVOCACY アドボカシー	 COMMUNITY コミュニティー	 TALENT タレント
- 米国社会正義評議会を設立 - Congressional Black Caucus Foundationとの間で新たに100万ドルのパートナーシップを締結 - 米国の従業員を対象として、選挙のための有給休暇を導入 - Board Diversity Action AllianceおよびCivic Allianceに参加 - ダウの最高人事責任者であるカレン・S. カーターが米ミシガン州知事のブラックリーダーシップ諮問委員会に任命	ダウ・プロミス・プログラムに60万ドルを投じることを約束 キング牧師記念日を米国の有給休暇およびボランティアの日の機会として設定 - 米国商工会議所のブラック企業支援連合と提携	2024年までに歴史的黒人大学に500万ドルを拠出 - 黒人人材を育成・前進させるため、ダウのアドボカシー・イン・アクション・スポンサーシップ・プログラムへの取り組みを改めて約束 - DiamondそしてBEST キャリア初期のためのシンポジウム主催 新しい上級インクルージョン研修を通して、ピープルリーダーを育成 - 米ミシガン州および米国メキシコ湾岸における黒人の若者を対象とした新しい学生メンターアカデミーを展開

ダウのサプライヤーにおけるダイバーシティの取り組みは、マイノリティ、女性、退役軍人、LGBTQ+や障がい者による事業および小規模事業者を特定し、ビジネス関係を築くことに注力します。

グローバルなパンデミック禍においても、サプライヤーのダイバーシティが拡大



2018年のプログラム開始以来

>\$10億+

小規模または
ダイバーシティ
対象事業者との取引額

認証された取引額
増加率

50%+

ティア2報告の
年初来獲得額

\$1億7300万

バリューチェーン全体で
ダイバーシティを促進

サプライヤーの
ダイバーシティによって
実現されたEBIT

\$700万

中南米

212のサプライヤーがサプライヤーデー参加

アジア太平洋

ジェンダーインクルーシブな職場の
カテゴリーで中国の女性エンパワーメント
原則の準優勝を獲得

欧州、中東、アフリカ、インド

サプライヤーのダイバーシティにおける
ロレアルの「カスケード顧客」に

北米

五大湖女性ビジネス協議会2020年
ピッチコンテストを後援・主催

ダイバーシティサプライヤー
世界**10カ国**
に拠点



3位

2100超

小規模およびダイバーシティ対象事業者
107の新規ベンダー

従業員の安全、ウェルネス、成長を重視

ダウの物語はすべて、人から始まります。私たちは、3万5700名の従業員一人ひとりが尊重され、その価値を認められ、最大限の貢献を果たすことを期待されるよう、インクルージョンの文化の育成と継続的な学習に投資しています。ダウの文化には、安全と従業員の健康、世界をリードする環境に対する取り組みが深く根付いており、それが私たちの働き方の中心となっています。

- **研修および開発**：オンラインおよびデジタル学習プラットフォーム、実地訓練、一連のリーダーシップ開発の機会を組み合わせ、従業員の成長を支援しています。
- **健康および安全**：2020年は、2019年に比べて労働者総合健康指数が10パーセント上昇し、重機および移動車両に関する新たな安全管理システムが導入されました。

コロナ禍におけるレジリエントな対応

- 2020年は、新型コロナウイルスが世界中で人々の生活を一変させ、ダウの事業にも大きな変化をもたらしました。その中で、問題解決能力を根幹とするチームダウは、以下のように対応しました。

従業員の安全	• 感染症の流行においても職場に出勤する必要がある従業員を守るため、すべての拠点で健康と安全に関する対策を強化 • 事業の継続性を維持しながら、世界の全従業員3分の2のリモートワークを実現
最前線に立つ医療従事者のための製品	• 医療機器、医療用品、個人用防護具の生産を支援 • これまで生産していなかった手指消毒液の生産のため、5つの拠点で製造プロセスを調整
コミュニティへの支援	• 新型コロナウイルスからの復興に向けた取り組みに400万ドル超を出資 • 個人用防護具、消毒液、安全および教育支援のために世界で160万ドルを寄付
Return to Work プレイブック	• Return to Workplace（職場復帰）プレイブックを公開、外部企業・団体により2週間で1300回ダウンロード

ダウの2020年

Voice

年次調査によれば、
ダウの従業員の**77%**が、それぞれの役割において学び、成長し続ける意欲を持っています。
2020年は、従業員1人当たり**62時間**の研修が行われました。

私たちが暮らし、働くコミュニティに投資する

私たちが暮らし、働く地域社会を形作るため、積極的な役割を果たすべく尽力しています。慈善目的の投資、従業員のボランティア活動、世界および地域でのパートナーシップを通じて、科学、人、コミュニティをつなぐ分野で大きな影響をもたらすことを目指しています。

私たちの地球市民としての戦略は、コミュニティに貢献する5つの優先順位からなっています

-  **サステナブル**
ソリューションの促進
-  **インクルーシブ**
コミュニティの構築
-  **未来のイノベーター**創出
-  **インパクトを生む**
従業員のエンゲージメント
-  **地域社会**とのコラボレーション

私たちがサービスを提供する人々や、私たちが暮らし、働く地域社会そしてより広義の社会に対して、コミュニティから立脚するプラスの影響を与えられるソリューションを提供できるよう、これらの優先分野が道しるべとなります。

世界の喫緊の社会的課題への対応

2020年におけるダウからの寄付は、3360万ドルに及びます。

コミュニティの インクルージョン	・ インクルージョン、ダイバーシティ、公平を専門とする非営利団体に380万ドルを寄付 ・ ERG（エンployee・リソース・グループ）参加者によるコミュニティのインクルージョンプロジェクトの支持を後押しするため、ALL IN ERG Fundを通じて25万ドルを寄付 ・ Dow ACTsを支援するため、1千万ドル以上を拠出
災害救済 および復興	・ 31カ国の167の組織に400万ドル以上¹の支援金と160万ドルの現金以外の寄付を提供し、新型コロナウイルスからの復興の取り組みを支援 ・ 災害救済に170万ドルを拠出
コミュニティの 清掃	・ 6400人のボランティアの協力を得て、540トン以上（120万ポンド）の廃棄物を環境から除去 ・ 73カ国の48組織とともにAlliance to End Plastic WasteのALL TOGETHER GLOBAL CLEANUPに参加
事業および サステナビリティ	・ 2020年は、ダウの製品と技術を社会のために役立てるプロジェクトにダウ・ビジネス・インパクト基金の資金150万ドルを供与
学生の支援	・ 黒人のSTEM（科学・技術・エンジニアリング・数学）パイプラインを支援するために、歴史的黒人大学に500万ドル²を拠出 ・ ダウのコミュニティにおける教育現場のニーズを支援するためにDonors Chooseに28万5千ドルを寄付 – 519のプロジェクトで4万1341人の学生の学習経験を支援 ・ 世界のSTEMプログラムおよびパートナーシップに1090万ドルを寄付

¹ ダウおよびザ・ダウ・カンパニー基金は、新型コロナウイルスの救援活動を支援するために400万ドルを拠出し、世界の救援組織とダウが事業を展開しているコミュニティの非営利団体に寄付しました。

² ダウのACTsプログラムによる1千万ドルの寄付に含まれます。

方針の進化

私たちが暮らし、働く地域社会で従業員がダウの目標を体現するよう働きかけることに、関心を強く持っています。従業員を巻き込み、影響をもたらすために、ダウは以下のように方針を進化させています。

- ・ 2020年には、米国の従業員を対象として、選挙またはその他の超党派市民活動のための有給休暇（最大4時間）を付与しました。
- ・ 2021年には、ダウの従業員がボランティアおよびERG活動のために有給休暇を取得できるようにする、ダウ初のボランティアおよびERG参加方針を発表しました。

ガバナンス：責任を持って誠実に事業を行う

トップクラスのカバナンス基準を遵守することはステークホルダーの長期的な利益を守りながら、すべての利害関係者に対して責任を持つということです。

アプローチ：最高クラスのカバナンスは、取締役会から始まる

私たちの高度なカバナンスは、高いスキルを持ち、多様で独立した取締役会から始まります。私たちは、多様であるということのみならず、幅広い知識と経験を持つ取締役とともに、この分野をリードし続けます。

取締役会の独立性	取締役の選出	取締役会の実務	持株要件	株主の権利
11名のうち10名が独立取締役 - 取締役会委員会はすべて独立取締役で構成 - 役割と責任が明確に定められた、独立性の高い筆頭取締役	- 過半数の投票による年に1回の選挙 - 取締役会の刷新とダイバーシティーを証明 - 選出されなかった取締役には、辞任方針を適用	- 独立取締役は定期的にエグゼクティブセッションを開催 - 取締役会および委員会の年次評価 - 取締役のオリエンテーションおよび教育プログラム	- 持株ガイドラインを取締役に適用 - 取締役は、退職まで株式を保持する - 会社の株式については、ヘッジ取引または質権設定は禁止	25%の所有で臨時総会を招集する権利 - 特別多数決決議要件なし - 適格な株主は、プロキシアクセスを通して取締役を推薦することが可能

報酬の比較対象となる他社企業において、ダウは取締役会のダイバーシティー率がトップ25%です。

ガバナンスの強化に向けたダウの取り組みに合わせた新しい慣行

- 2020年に2名、2021年に2名の新しい取締役を選出し、取締役会の資格および刷新に関するガイドラインを更新するなど、引き続き取締役会の後継者育成と刷新に注力しました。
- 2022年に向けて気候関連財務情報開示タスクフォースのガイドラインの導入を進め、サステナビリティ会計基準審議会と足並みを揃えるためにサステナビリティ報告を拡大して含めるなど、ESG報告の継続的な改善に向けた取り組みを強化しました。
- 米国EEO-1従業員コンプライアンスレポート（U.S. EEO-1 Workforce Compliance Report）を公開し、透明性に対する姿勢を示しました。
- ダウの株主総会招集通知におけるESGのリーダーシップとパフォーマンスに関する報告をさらに強化しました。
- ESG指標を役員報酬および従業員成績優秀賞制度に取り入れることにより、会社全体にESGに関する説明責任を拡大しました。
- Board Diversity Action Allianceに参加しました。

2020年ハイライト

環境	ガバナンス
コミットメントを加速	ESG指標
 2025年「自然の価値を高く評価」の目標において、自然を保護する10億ドルのNPVを達成するプロジェクトに向けて、>50%以上達成	取締役会: 55%が女性または米国におけるマイノリティーグループ ESG指標 エグゼクティブ報酬プログラム そして全社員を対象にした2020年度業績連動型報酬プログラムに数値目標を追加
 輸送スチュワードシップ指標において、50%の改善達成、2025年目標を超過	2020年以降、4人の新取締役が任命 多様な視座と高度な専門知識を取締役会にもたらす Gaurdie Banister Jr., Debra L. Dial, Luis Alberto Moreno, そして Jill S. Wyant
 2019年比で、環境スチュワードシップ指標が20%ポイント増加	ダウのシニアリーダーシップ 競合他社比*で最も高い米国におけるマイノリティーグループ率 そして2番目に高い女性のリーダー率 競合他社に関する詳細のリストは、Dow Annual Reportの補完情報ページの「定義」セクションをご確認ください。
 キーストーン・ポリシー・センターを通じて、コラボレーティブ・アクション・ツールを公開	BOARD DIVERSITY ACTION ALLIANCE に参加
循環型、サステナブルなソリューション	気候変動に向けたアクション
 包装用途に販売されるダウ製品の100%を再利用・リサイクル可能にするというダウの2035年までの目標の81%を達成	 電力の購入を発表し、再生可能エネルギーの利用を50%増の800MW超に拡大
2020年の再生バイオベース原料を基にした製品として、3倍の売上を記録	再生可能エネルギーの購入量で世界をリードする位置に
 ポストコンシューマーリサイクルプラスチック樹脂（PCR）を発表、さまざまな用途に向けて世界で発売	 シェルとの間でクリーンエネルギーを可能にする電動エチレンスチームクラッカー技術を加速させるための共同開発契約（JDA）を締結

* 2021年6月現在

2020年ハイライト



インクルージョン & ダイバーシティ

Congressional Black Caucus Foundationとの間で新たに5年にわたる**100万ドル**のパートナーシップを締結、**National Racial Equity Initiative**を支援

ダウのACTsプログラムによる1千万ドルの寄付に含まれます



総合的な従業員満足度において、これまでで最高の成果

歴史的黒人大学に**500万ドル**を拠出、黒人のSTEM分野における人材強化に貢献

ダウのACTsプログラムによる1千万ドルの寄付に含まれます

ERG（エンployー・リソース・グループ）参加者によるコミュニティのインクルージョンプロジェクトの支持を後押しするため、ALL IN ERG Fundを通じて**25万ドル**を地域社会におけるインクルージョン、ダイバーシティそしてイクイティの向上に向けて非営利団体に寄付



ダウのACTsプログラムを開始、社内そして地域社会における**構造的な人種差別**に向けた取り組みのため、今後5年間に**1千万ドル**以上を投じることを約束



グローバルのエンployー・リソース・グループに**2千人以上**の新規参加者



米国およびカナダを対象として、**軍学位交換制度**を開始

ダイバーシティ対象事業者との取引額
1億1200万ドル



コミュニティ

寄付金額合計**3360万ドル**

地域社会へのエンゲージメント

新型コロナウイルスと災害支援

学生・教師へのサポート



#PullingOurWeight
清掃活動
6400人の参加者が
540トン以上
（120万ポンド）のごみを
清掃



1万3800人以上
世界中でボランティアに参加した
従業員



>850
世界で提供された
助成プログラム数

新型コロナウイルスからの復興に向けた取り組みに世界中で**400万ドル**超を出資



160万ドル
の製品を通じた寄付を通じ、**個人保護具**、除菌剤、安全・教育分野を支援

100万ドル
を本社所在地域の**水害対策支援**に拠出

ダウのコミュニティにおける教育現場のニーズを支援するため**Donors Choose**に**28万5千ドル**を寄付
519のプロジェクトで
127の学校の
4万1341人の学生の学習経験を支援

ダウのコロナ禍対応支援に向けた400万ドル以上の支援金に含まれます

210
米**FIRST®**ロボットチームを、約130人のダウのボランティアが資金面含め支援

世界の**STEMプログラム**およびパートナーシップに**1090万ドル**を寄付

